

中部学院の旬の話題をお届けする



中部学院大学報

Chubu Gakuin University & College News

2014
vol. 32



特集

①

看護リハビリテーション学部 看護学科開設

～ 鼎談 看護学科に寄せる期待 ～

特集

②

五藤怜奈選手(人間福祉)世界ジュニア陸上で躍進

女子1万メートル競歩6位入賞

〈報告〉後援会総会・保護者懇談会を開催

12月18日(木) クリスマス礼拝・祝会 開催(関キャンパス)

今春、看護リハビリテーション学部

看護学科開設



地域で活躍する看護師を養成

ことし4月、リハビリテーション学部が
「看護リハビリテーション学部」として生まれ変わり、
新たに看護学科が誕生しました。

写真／足浴の演習に自主的に臨む学生＝関キャンパス4号館（看護棟）



表紙／第15回世界ジュニア陸上競技選手権大会女子10000m競歩で6位入賞を果たした五藤怜奈選手

中部学院大学報
2014
vol. 32
2014年10月発行

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS

〈発行：大学報編集委員会〉

特集 04 看護リハビリテーション学部 看護学科開設

～鼎談 看護学科に寄せる期待～

特集 06 五藤怜奈選手（人間福祉） 世界ジュニア陸上で躍進

女子1万メートル競歩6位入賞

08 キャリアサポート

キャリア支援体制 充実

〈卒業生インタビュー〉 DIESEL 節安理さん

10 保護者の皆さまへ

後援会総会・保護者懇談会を開催

12 部・クラブ・サークル紹介

〈ピックアップ〉ゴルフ部 櫻井和男監督

吹奏楽部 硬式野球部 ボランティアサークルMEGURI

14 トピックス

美濃と飛騨のふくし 地域に触れて課題を知る

岐阜新聞社と連結提携

15 講演会

現代産業研究、シティカレッジ各務原特別講演会 ほか



中部学院大学
古田 善伯 学長

1970年東京教育大学体育学部卒業。72年大学大学院体育学研究科修士課程修了。89年医学博士。岐阜大学教授、同大副学長などを歴任し、2010年から放送大学岐阜学習センター長。13年から本学大学学長。専門は運動生理学。



看護リハビリテーション学部
三上 章允 学部長

1971年北海道大学医学部卒業。同大医学研究科中退。京都大学霊長類研究所教授などを経て、2009年から本学人間福祉学部教授。11年より看護リハビリテーション学部長。京都大学名誉教授。専門は脳生理学、特に高次脳機能。その他、脳形態の発達、色覚の進化など。



看護リハビリテーション学部 看護学科
山田 静子 学科長

1972年名古屋保健衛生大学(現・藤田保健衛生大学)卒業。名古屋女子大学大学院修了。国家公務員共済連合会虎ノ門病院看護師、愛知県看護協会理事、看護部長を歴任。藤田保健衛生大学医療科学部副学部長兼看護学科長などを経て、2014年より本学看護学科長。

看護リハビリテーション学部 看護学科開設 特集① 鼎談 看護学科に寄せる期待

ことし4月、リハビリテーション学部が「看護リハビリテーション学部」として生まれ変わり、新たに看護学科が誕生しました。今回は大学の古田善伯学長、三上章允看護リハビリテーション学部長、山田静子看護学科長が、学科の特色や学生に期待することなどを語り合いました。

地域で育て、 地域で活躍する 看護師を養成

―看護学科を新設した
意義と特色は。

古田 本学はこれまで、長年にわたり、社会福祉士、介護福祉士を養成して、福祉に貢献する人材を多数輩出してきました。また、理学療法士は地域の医療機関のリハビリテーション分野の役を担っています。一方、医療現場では看護師が不足している状況が続き、地域で活躍できる看護師を養成してほしいという要望も強くありました。その期待に応えるべく、看護学科を新設することにしました。

山田 人の命をお預かりする専門職として他者を思いやりかばう心と行動が基本実践能力の育成には最も大切であると考えています。本学の建学の精神であるキリスト教精神を基盤として、人間教育に重点を置いた教育環境にしています。

三上 看護学科を開設したことにより、学部名も看護リハビリテーション学部として生まれ変わりました。理学療法士、看護師、保健師は医療専門職として、医療を支える要(かなめ)であり、医療現場で対象者に最も長く寄り添う職種です。その意味で、本学の特色のひとつである「人を大切にする心を持つた医療人を育てる」ことが求められています。

古田 大学の基本理念である「人格教育の実現」をベースに、生命への尊厳と人格を尊重する「心」を持つ

た後、現場に出たり、研究したりする時に、新しい知識を吸収しながら伸びていく学生に育ってほしいと思っています。山田 看護は「実践の科学」です。技術のエビデンスを学び、患者さんに実践していくことで技術を高めていきます。その前提として、学生の皆さんには、生活体験をたくさんしてほしいと思っています。患者さんは生活者というのが大前提。自分の生活体験が整っていないければ、汚いベッドで寝ている患者さんを診ても、汚いことに気付きません。家庭で最低限、掃除や食

事など、自分でできることは体験する機会を増やして、人として生活していく基本的な生活習慣を日ごろから身に付けてほしいと思います。それが、看護学の初学者に行う最初の確認教育と考えています。古田 看護学科ができたことにより、他学科にも良い刺激となっています。今後、看護リハビリテーション学部が核となり、地域で活躍する人材を輩出していくことで、地域の皆さんの中部学院大学に対する期待が高まり、応えていけるように努めたいと思っています。

―他学科との連携は。
古田 本学は既存の人間福祉学部、来年度生まれ変わる教育学部(現・子ども学部)などとも連携し、保健・医療・福祉の垣根を越えた連携を図れる環境にあります。医療専門科目において、チーム医療、人間の保健福祉との関連について考えながら、広く物事を捉えられる人材となることを期待しています。山田 保健医療領域の最大の目標は「健康の保持増進」です。患者さんは私たちと同様に「生活者」です。疾病や障がいを抱えている人々が、その人らしく生

きるために自分の生活を調整しようとすることを看護師は支援します。少しでも生活の質が向上し、安らかに生きていくためのケアの役を担える人材を育成したいと思っています。そのためには理学療法学科や人間福祉学科、短期大学部社会福祉学科などと連携することによって人々の身体的・側面だけでなく心理的・社会的側面にも目を向ける教育ができ、時代が求める質の高い看護専門職を育成できると考えています。三上 看護リハビリテーション学部を中心に、本学には解剖学・生理学・臨床医学などの専任教員がレベルの高い医学・医療の基礎教育を行っています。特に、専門医療領域では第一線で活躍している経験豊かな教授陣が整っています。今後、他学科との連携を進めていきたいと考えていますが、まずは理学療法学科と看護学科が、1、2年生を対象にしたゼミを合同で行ったり、

看護学科開設記念式典 開催



今年度新設した看護リハビリテーション学部看護学科の開設記念式典を5月10日、関キャンパスで行いました。

式典には、関市の尾関健治市長、郡上市の日置敏明市長をはじめ、入学生や大学関係者ら約320人が出席しました。大学の古田善伯学長は「快適な学習環境で社会に貢献できる看護師を養成するとともに、さらに地域に開かれた大学を目指したい」と式辞を述べました。その後、看護学科の開設を記念した講演会を行い、前岐阜大学学長で医学博士の森秀樹本学客員教授が「生活習慣とがんの予防」と題して講演しました。がんの発生する仕組みを大腸や胃など消化器ごとに説明し、予防法を解説しました。アルコールの代謝で発生するアセトアルデヒドは発がん性物質であると指摘した上で、「お酒を飲んで顔が赤くなる人は、その物質の分解酵素が少ないので注意が必要」などと呼び掛けました。



森 秀樹(もり ひでき)
岐阜大学医学部卒業後、同大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)。1976年から岐阜大学医学部に勤務。同教授、医学部学部長を経て、2008年から同大学学長(2014年3月まで)。専門分野は腫瘍病理学。2005年高松宮妃癌研究基金学術賞受賞。2014年4月より本学客員教授。



聴診器で心肺を確認する演習に臨む学生



血圧測定を自主的に練習する学生



体位の変換や移動を学ぶ学生



ことし7月、アメリカのオレゴン州ユージンで行われた「第15回世界ジュニア陸上競技選手権大会」で、陸上競技部の五藤怜奈選手（人間福祉学部1年、済美高校出身）が女子10000メートル競歩に日本代表として出場。世界の強豪を相手に、自己記録を大きく上回る45分54秒07（東海学生新記録）で6位入賞を果たしました。活躍の裏では、看護リハビリテーション学部理学療法学科の林典雄教授（陸上競技部部长）が済美高校と連携してメディカルサポートを続けてきました。今回は2人が、これまでの軌跡を振り返りながら、将来への夢について語り合いました。

もう一度世界で戦いたい

五藤 世界ジュニアでは何とんでも入賞したいと思っていて、先頭集団に食らいつき、粘り続けました。いま持っている力はすべて出し切れたと思います。レースもあつという間で、楽しむことができ、応援してくれる声もしっかり聞こえました。



日本学生対校選手権より



けます。五藤選手は足が外に向いてフォームが崩れやすいので、反復練習して、左右のブレを少なくすることが速度を上げるポイントの一つです。

五藤 インソールのおかげで、けがも少なくなり、安心して練習しています。

林 選手はけがをして1日でも走れないと不安になります。けがをしない体づくりも意識して取り組んでほしいです。

「チーム岐阜済美学院」で選手育成サポート体制整う

五藤 高校の時から大学の先輩方と一緒に練習を重ねてきました。その背中を追ってきて今の

結果があると思っています。今は私を追いかける後輩もいるので、「しっかりと頑張らないといけない」という思いも強くなってきました。

林 素質のある選手が済美高校に入学して基礎を築き、中部学院大学に進学して、教養を広げ、メディカルサポートを受けながら競技を継続できるという良い流れができています。「チーム

岐阜済美学院」として、日本の陸上界に打って出られる選手を7年間＋αで育成し、世界で通用するアスリートをサポートする時間を提供していきたいと思っています。

東京五輪も視野に20キロ競歩に挑戦

五藤 10月には長崎県諫早市で開かれる国体に出場します。来年はユニバーシアードの選考となる20キロメートルロードの大会があるので、9月中旬の練習から少しずつ歩く距離を増やしています。

林 サポート面では、これまでの10キロメートルから20キロメートルに伸ばしたことで、体にどんな変化が生じ

対談 特集②

世界ジュニア陸上 女子10000m競歩6位

看護リハビリテーション学部 理学療法学科

五藤 怜奈 選手 × 林 典雄 教授

（人間福祉学部人間福祉学科1年、済美高校出身）

（中部学院大学陸上競技部 部長）

インソール効果で飛躍的に成長

五藤 林先生と初めて出会ったのは高校2年の時。けがをして症状を診ていただき、インソール（靴の中敷き）を作っていただきました。

林 それをきっかけに、今日までサポートが続いています。インソールは長距離種目で特に効果が見られます。痛みをコントロールできるだけでなく、フォームも良くなります。五藤選手の場合、腰の位置が高くなりました。

五藤 付けた瞬間歩きやすく、足の痛みを感じませんでした。また、どこに力を入れて進んでいるのかがわかるようになり、体のブレも少なくなりました。

林 競歩では前に進むベクトルが大事になります。前進するときに重心が左右に大きく揺れてしまうと、ブレーキがかかり遅くなります。筋肉にも負担を掛

と呼吸もさらに良くなります。体の筋肉もまだ硬く、腕だけで歩いているので、筋肉を柔らかくして、体を使いながら歩けば、速度はまだ上がります。一つひとつのパーツに磨きをかけて反復練習を重ねれば、東京オリンピックの候補としても十分期待できます。これからのさらなる飛躍に期待しています。



陸上競技部
高柳 竜一
監督



粘り強く、コツコツと練習に取り組む長距離向きの性格で、本番で実力を発揮できるメンタルの強さを持った選手です。世界ジュニアでは胸を借りるという気持ちで、とても良い結果につながったと思います。しかし、それ以降の大会では、勝ちを意識するあまり、守りのレースになっているので、失敗を恐れず、1試合1試合テーマを持ち、積極的な姿勢でレースに臨んでほしいと思います。

キャリアサポート

さまざまなキャリアサポートをはじめ、
国家試験対策講座を実施し、資格取得の
ための支援を行っています。



丁寧に時間をかけて行っている模擬面接指導

本学では学生一人当たり年間平均15回以上の個別指導を行っています。中でも特に「模擬面接」は学生のニーズも高く、キャリア支援センターが長年蓄積してきた「受験報告書」をベ-

スに徹底指導しています。例年、模擬面接の予約は年間300回以上の希望があります。今年度も上半期で180回以上の予約があり、内定獲得に対する学生の意識の高さがうかがえます。

効果を高める「模擬面接指導」

キャリア支援講座の充実

個人面接・グループディスカッション対策講座

公務員試験の直前対策として「個人面談・グループディスカッション対策講座」を実施しました。特に警察官採用試験の1次試験の結果を受けて、外部講師を招き、面接の基本や面接官の着眼点、グループディスカッションのポイントなどを徹底的に学びました。



筆記試験得点UP講座(前期・後期)

これまで実施してきた「基礎学力向上講座」の内容をグレードアップして開講。本講座は全学年を対象に公務員や企業の筆記試験対策として実施しています。外部講師の指導による前期7コマ・後期7コマの計14コマを開講し、年間を通じた学びの場を提供しています。

前期は80名を越える学生の申込みがあり、筆記試験対策への関心の高さが伺えます。

熱心に問題に取り組む参加学生の直向な姿が印象的でした。学生からは「これまでの勉強のおさらいができて良かった」「自分の力の無さを痛感した」などの声が寄せられました。

仕事と人生

キャリア支援科目「仕事と人生(2単位)」を後期より開講しました。この授業は大学3年生と短大1年生を対象としており、各界から講師を招聘し多彩なプログラムを提供します。「働くこと、生きること、自分の人生を考える」ことを授業テーマとして、就職活動を始めるにあたっての心構えから具体的な実践方法までを学びます。

後援会総会・保護者懇談会を開催

（保護者との連携を大切に）

6月7日、関キャンパスのグレースホールにおいて「後援会総会・保護者懇談会」が開催されました。今年は約180名の方々にご参加いただきました。

後援会総会

毎年ご好評をいただいていますチャペルアワーは、短期大学部幼児教育学科の杉山祐子教授によるパイプオルガンの前奏から始まり、一同で賛美歌を唱和したのち、志村真岐卓済美学院宗教総主事が『主を仰ぎ見て、光を得よ』と題してメッセージを語ってくださいました。

引き続き、今年度新たに後援会長に就任した伊藤崇氏のご挨拶と新役員のご紹介があり、総会の議事にはいりました。それぞれの議案について、熱心な討議がなされたのち、10時40分に後援会総会を閉会しました。

保護者懇談会

引き続き、グレースホー

ルにおいて保護者懇談会が行われました。

《中部学院で夢の実現を！》と題して、古田善伯大学学長が看護学科の新設に寄せる地元の期待度の大きさ、活発な課外活動の様子を含めた大学の現状と教育方針などについて、片桐多恵子短期大学部学長は高い就職率を誇る教育内容と学科における優れた取り組みについて、それぞれ具体的に説明しました。

次に、本学の誇りとする高い就職率を生み出す原動力ともなっているキャリア支援について、古川学務室長から学部別の就職決定先の紹介、1年次から4年次に至る具体的なキャリア・サポートについて、スライドを用いてビジュアルに説明を行いま



大学の教育方針などについて語る古田善伯大学学長

した。

加えて、本年度に誕生したばかりの看護学科についても、既に就職を視野に入れたキャリア支援が始まっていることについて説明があり、当該学科の保護者の方々からご好評をいただきました。

その後、大学の講義・講座を実際に体験していただくためのセッションが行われました。本年度は別記の通り3つの講座を開講させていただきました。いずれの講座にも多くの保護者の方が聴講してくださり、講師の先生方話にも一段と熱が入りまし

保護者の皆さまへ

本学では、建学の精神や大学の教育方針、並びにキャリア支援などについて、保護者の皆さまにご理解いただくために、毎年「後援会総会・保護者懇談会」を開催しています。



メッセージを語る志村真宗教総主事

た。

講座終了後、ポローニア学生食堂にて昼食をお召し上がりいただき、午後からのプログラムである学科別説明会と個別懇談会に進みました。子ども学科と経営学科の保護者の方はスクールバスで各務原キャンパスに移動していただいたのち、午後のプログラムに参加していただきました。

今年度は、個別懇談会に117名がご予約いただき、学生生活に関すること、単位取得や就職に関することなどについて、担当の教員とじっくり面談されました。

地区別保護者懇談会

関キャンパスで開催される保護者懇談会に参加することのできない遠方にお住まいの保護者の方々のために、本年度も高山市、松本市、静岡市において地区別保護者懇談会

を開催しました。

高山会場は7月5日、松本会場と静岡会場は7月12日に開催し、3会場合わせて48名のご参加をいただきました。いずれの会場においても、学長、副学長が大学・短期大学の現状を説明したのち、個別懇談会をおこないました。参加した保護者の方は熱心に質問したり説明に聞き入ったりして、来年以降も是非開催してほしいとの要望をお寄せいただきました。

関キャンパスで行われた「後援会総会・保護者懇談会」では、参加者アンケートを実施しました。アンケート結果は、10月11日に開催される第2回後援会役員会においてご報告させていただきますと共に、来年度の会をより良いものとするために活用させていただきます。アンケートにご協力いただきました皆さまに改めて御礼を申し上げます。

【学生数・出身地・下宿 状況】

2014年5月1日現在

大 学				
学 生 数	学 部	男	女	計
	人間福祉	288	188	476
	子ども	97	207	304
	看護リハナリハ	199	154	353
	経 営	225	65	290
合 計	別 科	9	4	13
		818	618	1436

*通信教育部は含まない

出 身 地	岐阜	893	64.2%
	愛知	165	11.9%
	三重	29	2.1%
	静岡	38	2.7%
	北海道・東北	6	0.4%
	関東・甲信越	72	5.2%
	北陸	43	3.1%
	近畿	39	2.8%
	中国・四国	16	1.2%
	九州・沖縄	12	0.9%
海外 (中国・韓国・台湾・ブラジル・ペルー・ベトナム)		78	5.6%

下 宿 状 況		男	女	合計
	学生数	818	618	1436
	自宅生	500	448	948
	下宿生	318	173	491
	下宿率%	38.9%	27.9%	34.1%

短期大学部

学 生 数	学 科	男	女	計
	社会福祉	36	95	131
	幼児教育	10	201	211
	専攻科	3	26	29
	合 計	49	322	371

出 身 地	岐阜	325	88.6%
	愛知	17	4.6%
	三重・静岡	4	1.1%
	関東・甲信越	14	3.8%
	北陸	5	1.4%
中国・四国		2	0.5%

下 宿 状 況		男	女	合計
	学生数	49	322	371
	自宅生	40	274	314
	下宿生	9	48	57
	下宿率%	18.4%	14.9%	15.4%

体験講座・講義のテーマと講師

◆健やかな向老期を迎えるために
— がん予防とP(ピン)・P(ピン)・K(コロリ)をめざして—
看護リハビリテーション学部 看護学科 宮田 延子 教授

◆宗教と学校 — 滞日ムスリム家庭への学校—
子ども学部 子ども学科 竹ノ下 祐二 准教授

◆笑顔を引き出す認知症ケア
短期大学部 社会福祉学科 野村 敬子 准教授

仕事相談会

学内「福祉・教育総合就職フェア」

7月3日、関キャンパスにて「福祉・教育総合就職フェア」を開催しました。キャンパス内に病院、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、福祉事業団、社会福祉協議会、福祉系企業、幼稚園、保育所、児童養護施設、児童館など47団体から人事担当者を招き、仕事の内容や採用試験の様子など、ブースごとに説明をしていただきました。相談会には多くの学生が訪れ、緊張した面持ちで話を聞き、熱心に質問する姿がみられました。



学内「子どもの仕事相談会」

7月10日、各務原キャンパスにて「子どもの仕事相談会」を開催。当日は台風が接近する悪天候でしたが多くの学生が参加し、真剣な眼差しで人事担当者の話に耳を傾けていました。

飛騨地区限定 福祉・幼児教育の仕事相談会

飛騨地域(高山市・飛騨市・下呂市)で就職を考えている学生やその保護者、高等学校の進路指導の先生方を対象に、7月5日、高山市社会福祉総合福祉センターにて「飛騨地区限定 福祉・幼児教育の仕事相談会」を開催しました。社会福祉協議会や社会福祉法人、NPO法人、幼稚園・保育園など地元の15団体に参加をいただき、就職活動をする上での耳寄り情報をご提供いただきました。参加した学生は熱心にメモを取り、地元での就職活動に確かな手応えを感じていました。

部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。

ピックアップ!
ゴルフ部
櫻井和男監督

ゴルフを通して人間的な成長に期待 豊かな心感謝の心挨拶の心を育む

「人間的成長がスコアを伸ばす」。ゴルフを通して「豊かな心」「感謝の心」「挨拶の心」

を育む指導に徹してきたゴルフ部の櫻井和男監督。日常生活での行動の大切さを説きながら、練習や試合では、選手が安心してプレー

できるように常に声を掛け、大きく背中を押してきました。

手がプレーに専念できる環境づくりに力を注いできました。

また、選手が自分の力を最大限発揮できるように、緊張している選手に温かい言葉を掛け続けます。男子主将の川瀬翔也選手(経営学部3年、岐阜城北高校出身)は、「試合前にさりげなくアドバイスしてくださり、最後に背中をたたいて送り出し、もらうと本当に肩の力が抜けます」と言い、「いつもみんなのことを考えてくれているのがとても伝わってきます」と信頼を寄せます。女子主将でゴルフ部全体をまとめる明珍あかね選手(同4年、福井工大福井高校出身)も「『いつものようにやればいいんだよ』と平常心を取り戻す言葉をかけてくだ

さり、緊張感がほどけました。試合中もそばにいてくださるだけで安心感があります」と振り返ります。

「ゴルフの世界では『今日の設定は難しい』という言葉は耳にしますが、自分だけが難しいわけではないかもしれません。『できない』という暗示を自分でかけてしまっています。これからも選手の緊張を解きほぐせるように声を掛けていきたいと思っています」



躍進を続けるゴルフ部

できるような常に声を掛け、大きく背中を押してきました。

本来は陸上競技の砲丸投げ選手。大学卒業後に赴任した美濃加茂高校では、陸上競技部の顧問を5年、硬式野球部の部長を14年間務めた後、ゴルフ部の顧問に転身しました。「甲子園で経験した感動を、今度はゴルフの選手にも味わわせたい」。全国大会での活躍、プロゴルフアーになるという夢を実現するため、ゴルフ環境の整備をはじめ、経済面の管理、ゴルフ場への送迎、選手はキャディーの手伝いをしながらラウンド練習を重ねるなど、地道な活動を続けてきました。本学に赴任した今日でも実践。大会の手配などを行い、選

6月7日、ボランティアサークルのひとつで、日ごろは知的障がい者施設でボランティアをしたり、清掃活動をおこなっている「MEGURI」のメンバーが、岐阜市で行われた長良川の清掃活動に参加しました。

今回、参加したのは「アクアソーシャルフエス2014 長良川クリーン作戦」で、美しい長良川の自然を未来に残そうという環境保全キャンペーンとして年に2回行われています。

この日は、参加者約200名と共に朝7時から1時間ほどかけて、長良川の河川敷の清掃活動を行いました。

また、清掃後には長良川漁協の協力で鮎の稚魚約4千匹を放流しました。



人間的な成長を大切に指導するゴルフ部の櫻井和男監督(中央)。男子主将の川瀬翔也選手(右)、女子主将の明珍あかね選手も大きな信頼を寄せています＝関キャンパスにて

プロフィール

櫻井和男(さくらい・かずお)

1952(昭和27)年、島根県生まれ。中京大学体育学部体育学科卒業後、1975(昭和50)年4月より美濃加茂高等学校保健体育教員。硬式野球部部長、ゴルフ部部長を歴任。2013(平成25)年3月、同校定年退職。同年4月より中部学院大学ゴルフ部監督。甲子園には2度出場。ゴルフ部の教え子には服部真夕さん、鬼頭桜さんなど、プロで活躍する選手を多数輩出。国体の監督を12年間務め、兵庫、新潟、岐阜で全国優勝を果たした。

【男子団体】

中部学生春季1部・2部学校対抗戦(5月)1部1位
全国大学対抗戦(6月)8位
中部学生秋季1部・2部学校対抗戦(9月)1部1位

【女子団体】

春季学校対抗戦(4月)2位
秋季学校対抗戦(8月)1位
信夫杯争奪日本女子学生大学ゴルフ対抗戦(10月)出場

今年度の主な成績

吹奏楽部

第69回東海吹奏楽コンクールが9月7日、愛知県みよし市文化センターで行われ、岐阜県代表校として本学吹奏楽部が出場しました。

東海吹奏楽コンクールには、本学と静岡大学・静岡、三重大学(三重)、長野高専(長野)、愛知教育大学(愛知)、中部大学(同)の6大学が各県代表校として出場し、全国大会への出場枠1つをかけて争いました。課題曲「勇気のトビラ」自由曲「歌劇『トスカ』より」の2曲を演奏し、結果は惜しくも銀賞。全国大会への出場権は逃しましたが、多くの成果を実感できるコンクールになりました。(全国大会出場権は静岡大学が獲得)



東海吹奏楽コンクールに出場した吹奏楽部

東海吹奏楽コンクール 銀賞受賞

長良川の清掃活動に参加

10月12日に長崎県で開催する「2014長崎がんばらんば国体」。本学からはゴルフ成年男子に、経営学部の川瀬翔也選手、光田智輝選手(1年、美濃加茂高校出身)、卒業生の山本聖哉選手(2013年度経営学部卒業、愛岐カントリークラブ)の3人が、女子は池田美菜選手(経営学部1年、金沢学院東高校出身、石川県代表)が出場します。監督は櫻井和男監督が務めます。川瀬選手は「良い結果を残したい」と意気込んでいます。陸上競技では、日本学生対校選手権(インカレ)で女子10000メートル競歩を制した五藤怜奈選手(人間福祉学部1年、済美高校出身)が同種目の成年女子に出場します。



五藤怜奈選手



池田美菜選手



川瀬翔也選手



光田智輝選手



山本聖哉選手

硬式野球部

7月22日、23日、可児市のKYBスタジアムにおいて、ハワイの大学生による選抜チームと岐阜学生野球リーグの選抜チームとの交流戦が行われ、1日目は岐阜選抜が4-0で勝利、2日目も4-2で勝利して2連勝を飾りました。また、両日の試合後



ハワイ選抜チームと交流した硬式野球部

ハワイ選抜チームと交流

は、地元の小・中学生を対象とした野球教

室が開催され、両チームの選手がポジショニングとに分かれて熱心に指導しました。参加者は、2日間で併せて約160名。日米の大学生から技術の向上につながる手ほどきを受けるなど野球を通じての交流を存分に楽しみました。

ボランティアサークル MEGURI



長良川クリーン作戦に参加したボランティアサークル MEGURI

講演会

各務原シティカレッジ、公開講座や特別講演などでは、国内外で活躍する先生を講師に招いています。

現代産業研究 ～第一線で活躍するリーダーから学ぶ～

経営学部／シティカレッジ各務原

各界のトップが豊かな人生体験を語る

経営学部とシティカレッジ各務原の公開講座「現代産業研究」を今年度も8回シリーズ(5-7月)で開催しました。現代の日本の大きな課題の一つである「地域創生」について、地域経済の活性化に取り組み、第一線で活躍している各界のリーダー 8人が演台に立ち、現状の課題や戦略、リーダーの考え方や豊かな人生経験などを学びました。

【2014年度講師】(順不同、冒頭は講演当時)
宗次 徳二氏(株式会社 創業者特別顧問) 山下 純司氏(宮内庁式部職職任) 井上 富紀子氏(ラブリックQueen(株)取締役)
安井 秀樹氏(税理士) 真能 秀久氏(中日新聞岐阜支社長) 西村 悦郎氏(ジーエフシー(株)相談役)
有巢 栄里子氏(飛騨高山旅館本陣平野屋 花兆庵 女将) 浅野 健司氏(各務原市長)



京都大学霊長類研究所教授 公益財団法人日本モンキーセンター所長 松沢哲郎 本学客員教授が講演

中部学院大学公開講座

野生チンパンジーの危機

チンパンジー研究の第一人者で本学の客員教授でもある、京都大学霊長類研究所の松沢哲郎教授による公開講座を、7月17日関キャンパスで開催しました。今回は「野生チンパンジーの危機:野火、密漁、エボラ出血熱」と題して、毎年調査に訪れているアフリカ・ギニアを取り上げ、チンパンジーを取り巻く環境や問題について話されました。講座後は、教授と質問した学生がチンパンジー式の挨拶を交わす場面もありました。次回は各務原キャンパスで2015年1月中旬を予定しています。



帝京短期大学教授 諏訪邦夫さんが講演

ガンはいい病気～死が選べるなら

中部学院大学シティカレッジ各務原の第1回特別講演会を6月、各務原キャンパスで開催しました。諏訪邦夫教授は1987年、昭和天皇が膵臓がんによる腸閉塞を起こされた際の手術で、天皇の全身麻酔を担当した日本を代表する麻酔科医です。講演では、「ガンは防げません。死を防ぐこともできません。死を許容しましょう。どうしたら『カッコよく、自分の望むように』死ねるか、今から考えておきましょう」などと語りかけました。



第1回シティカレッジ各務原特別講演会

今後の予定

第12回いきいき地域! たのしみん祭・大学祭
(同時開催)ホームカミングデー、オープンキャンパス
●10月18日(土)10:00~17:30
●関キャンパス、関特別支援学校

第9回学びの森フェスティバル
●11月3日(月・祝)9:00~15:00
●各務原キャンパス、学びの森

第23回 中部手話スピーチコンテスト
●11月15日(土)13:00~17:00
●各務原キャンパス

ブロムナードコンサート2014(※)
～夢いろの音～
●11月23日(日)15:00~18:00
●関市文化会館

クリスマスツリー点灯式
●12月1日(月)16:30
●関キャンパス

クリスマス会
●12月17日(水)17:30~19:15
●各務原キャンパス

クリスマス礼拝・祝会
●12月18日(木)11:00~14:30
●関キャンパス

吹奏楽部定期演奏会(※)
●12月20日(土)14:00
●関市文化会館

卒業式(※)
●3月21日(土・祝)10:00~11:30
●長良川国際会議場

(※)・・・保護者の方も参加していただけます。

トピックス

さまざまな研修や交流活動を展開しているほか、地域に溶け込んだ活動を繰り広げています。

連携科目「美濃と飛騨のふくし」 関市上之保の現状を分析 課題を探る

県内の地域の現状について学ぶ「美濃と飛騨のふくし」で、関市上之保地区の課題解決に向けて、学生がフィールドワークを行いました。最終回には地域の住民や市役所の方々を招いた成果発表会を開き、グループワークで検討した提案を発表しました。

「美濃と飛騨のふくし」は、美濃・飛騨の地域に対する関心を高め、地域のさまざまな活動に参加することで、地域における役割を見つける地域連携科目。今年度は関市上之保地区をフィールドに展開してきました。「産業」「子ども」「高齢者」に分かれてグループワークを重ね、地域の課題を検討しました。



岐阜新聞社と包括的連携協定 地域振興、人材育成などで連携

岐阜新聞社と地域振興や人材育成などを目的に幅広い分野で連携する包括的連携協定を締結しました。今回の連携協定では、福祉・教育・医療・経営の領域にわたり、こころ豊かな人間性を育む学習環境の構築をめざす本学と、県内の情報機能を持つ岐阜新聞社が連携し、記者による学生向けの講義を開いたり、特集紙面の企画や調査研究などを共同で行ったり、広く県内の教育・文化・スポーツの振興などを図っていきます。大学の古田善伯学長は「学生が紙面で意見を伝える場ができるといい」、短期大学部の片桐多恵子学長は「新聞の有効な情報を活用していきたい」と期待を寄せました。



1. 人材交流と学生の育成
2. 講座・調査研究の実施
3. 教育文化スポーツの振興
4. 県内の発展に資する情報の交換

県警サイバー防犯ボランティア 11人に委嘱 サイバーパトロールを行い、サイバー犯罪を監視

岐阜県警サイバー防犯ボランティアに、応募した11人全員が委嘱されました。同ボランティアは、インターネットなどを安心して利用できるように、サイバーパトロールなどを行い、ホットラインセンターに通報したり、サイバー犯罪の被害を防止する広報や啓発などを行ったりします。



全国書写書道大会で最優秀賞「文部科学大臣奨励賞」 経営学部1年 尾崎亮祐さん

経営学部1年の尾崎亮祐さんが「全国書写書道大会」(全日本書写書道教室連盟主催)の高校・一般の部で最優秀賞の「文部科学大臣奨励賞」を受賞しました。尾崎さんは高山市で小学3年から書道を始め、この大会には10回連続出場。夏休みに簿記の勉強をしながら書道の練習に励んできました。





中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部
Chubu Gakuin University & College

[関 キ ャ ン パ ス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加惣田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程後期

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(福祉専攻/心理専攻) 健康福祉学科(スポーツ専攻/マネジメント専攻)

◆看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科 ◆子ども学部 子ども学科※(子ども教育コース/保育・子育て支援コース/発達支援コース) ◆経営学部 経営学科(企業マネジメントコース/まちづくり地域人養成コース/スポーツマネジメントコース/職業会計人コース) ◆通信教育部/人間福祉学部 人間福祉学科

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護福祉コース/健康支援コース) ◆専攻科(福祉専攻)

※2015年4月 教育学部に名称変更 ※コースは変更する場合あり